



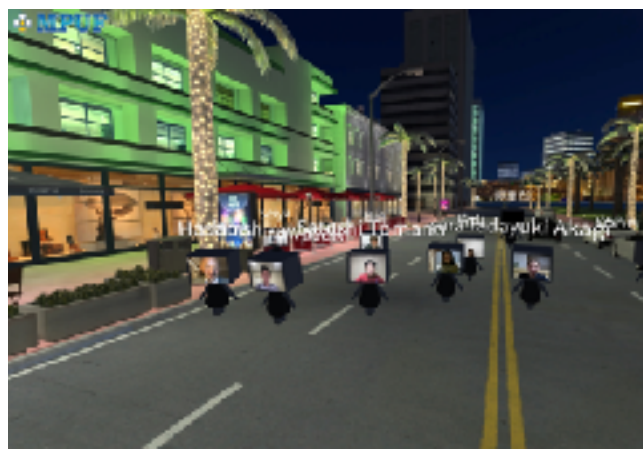
海外日本人研究者ネットワーク

特別企画9

最新のXR (クロス・リアリティ) がつなく 若手がん研究者の近未来

ボストン x パリ x 福岡 x 横浜の研究者が、仮想現実空間の
パネルディスカッション、ポスターセッションを通じて、
コロナ禍の国際共同研究ネットワークのあり方を問う

多人種間での実証や多症例登録を可能になる国際共同治験、我が国では十分に進んでいない知見の導入など、国際連携の重要性は論を待たず、さらに、年齢、性別、国籍、専門性等の境界線を越え、世界で活躍する大学の研究者や企業、そして行政の方達と、挑戦するチームを作り、プロジェクトを構築する「反分野的思考」をもつことが世界的潮流となっている。しかし、コロナ禍において国境を超えた移動に制限がかかり、オンラインで言語も分野も異なる初対面の人と具体的な共同研究に進める議論を開始するのはハードルが高く、特に若手研究者にとって国際的なネットワークを新しく構築するのは大きな困難を伴う。その一つの解決策として、ポストコロナ時代に適応したコミュニケーションツールである、仮想現実空間(VR)を組み合わせたcross-reality(XR)システムと、海外で活躍する日本人研究者のネットワークがある。自己の存在感、周囲の臨場感を有する環境の中で、同じ日本語で連携できる海外の研究者と交流することが、真の国際協働に向けた第一歩として注目を浴びている。両者を有機的に連携、活用することで、研究のみならず、社会的インパクトや波及効果も期待できる。本シンポジウムでは、アカデミア用に開発したXRシステムがどのようにサイエンスに関わるかを紹介し、新しいサイエンスのあり方を若手がん研究者とともに考えるセッションにしたい。



プログラム

- 15:30 Opening Remarks 足立剛也 (UJA/慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア/京都府立医科大学)
- 15:35 What is the United Japanese Researchers Around the world (UJA)?
松居彩 (UJA戦略推進部/ハーバード大学医学部/マサチューセッツ総合病院)
- 15:45 Investigation of UJA survey 2020: The fact of Japanese-style study & work abroad
本間耕平 (UJA学術企画部/慶應義塾大学医学部)
- 15:55 XRを用いた共同研究推進の事例紹介: Scienc-ome XR Innovation Hub (SXR)
早野元詞 (慶應義塾大学医学部/一般社団法人ASG-Keio)
- 16:05 Genetic modification in the body to make friends with cancer cells?! Dreaming of cancer treatment in 100 years
黒田垂歩 (レオファーマ株式会社 レオ・サイエンス&テックハブ)
- 16:15 XR空間への移動
- 16:25 佐谷大会長へのXR Conference Cloudの紹介
北原秀治 (UJA/東京女子医科大学)、榎場博文 (Microsoft Project Users Forum)
- 16:35 XRパネルディスカッション
テーマ「コロナ禍の若手国際共同研究にのぞまれるものとは? (仮)」
パネリスト 佐谷秀行、松居彩、山口幸佑、黒木青、本間耕平、早野元詞、黒田垂歩
- 16:50 XRポスターセッション
Controlled epigenetic disturbances induce the cellular senescence in colorectal cancer cells
山口幸佑 (ディドロ大学/パリ若手物理学者の会)
Determination of working concentration of a made in-house LIF in mouse embryonic stem cell culture
黒木青 (福岡工業大学)
- 17:00 Closing Remarks 北原秀治

開催時間

会場 パシフィコ横浜

10/2 (土) 15:30-17:00 ルーム502